

2009年6月3日

各位

積水化学工業株式会社
積水テクノ成型株式会社

地下貯水システム用部材「クロスウェーブ・ハイ」の発売について

～安全性の高い「クロスウェーブ」の空隙率をさらに向上～

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：根岸修史）の100%子会社である積水テクノ成型株式会社（代表取締役社長：仲久夫、以下積水テクノ成型）は、地下貯水システム用部材「クロスウェーブ」の新製品「クロスウェーブ・ハイ」を発売しますので、お知らせいたします。

1. 背景

近年、ゲリラ豪雨など大雨による河川の氾濫や道路の冠水など、都市型の洪水が頻繁に発生しています。その対策として、国・地方自治体が雨水流出抑制施設設置の指導を強化しており、2004年には「特定都市河川浸水被害対策法」が施行されたことから、雨水流出抑制施設のさらなる増加が見込まれています。

「クロスウェーブ」は、地下に埋設し雨水を貯留する地下貯水システムの貯留材です。1998年に発売を開始して以来、性能や安全性が市場で評価されてきました。これまでの実績は、施工件数約1900件、総貯水量60万 m^3 （累計）で、業界トップクラスの地位を築いています。なかでも、千鳥状に積層していく構造による優れた安定性が高く評価され、多くのお客様に安心して採用していただいています。

2. クロスウェーブの新製品「クロスウェーブ・ハイ」について

今般、市場の拡大によるユーザー要望の多様化に対応するため、製品ラインアップを拡充し、新製品「クロスウェーブ・ハイ」を発売します。

「クロスウェーブ」の特徴

- 1) あらゆる方向からの圧力に強い・・・抜群の安定性
- 2) 高い空隙率（ ）を有する・・・・・・92～94%以上
- 3) 工期が大幅に短縮可能・・・・・・コンクリート工法比：1/3以下
- 4) 低コストを実現・・・・・・コンクリート工法比：約30%減
- 5) 環境にやさしい・・・・・・再生ポリプロピレン使用

空隙(くうげき)率：貯留槽全体の体積から貯留材の体積を除いた割合。割合が高いほど多く貯留できる。

新製品『クロスウェーブ・ハイ』

新製品「クロスウェーブ・ハイ」においては、「クロスウェーブ」の利点はそのままに、以下の点を実現し、大型物件から小型物件まで様々な規模に対応が可能となります。

- 1) 空隙率95%以上への向上
- 2) 製品の大型化によるさらなる施工性の向上
- 3) 軽量化による低コスト化

主な用途：宅地造成・区画整理・商業施設・工場・配送センター関係向けの大型調整池

発売：2009年5月より順次全国にて

販売目標：10億円（2009年度）

<製品写真>

(製品単品)



(組み立て時)



<ご参考1>クロスウェーブの概要について
【ラインアップ】

商品名	クロスウェーブ ・ハイ	クロスウェーブ ・ラージ	クロスウェーブ ・ストロング	クロスウェーブ
コンセプト	小型～大型物件対応	大型物件対応	高強度タイプ	クロスウェーブの基本形
空隙率	95%以上	94%以上	92%以上	93%以上

【主な用途】

1) 流出抑制/地下式調整池

大雨を一時貯留し、時間をかけて放流することにより都市型洪水を防ぐ



2) 雨水利用貯水槽

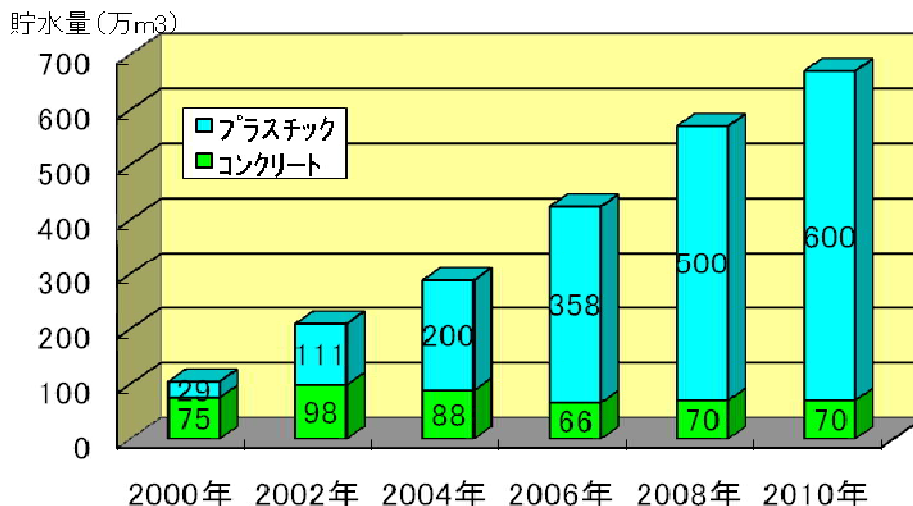
雨水を貯留し、散水や農業用水等へ雨水を活用する



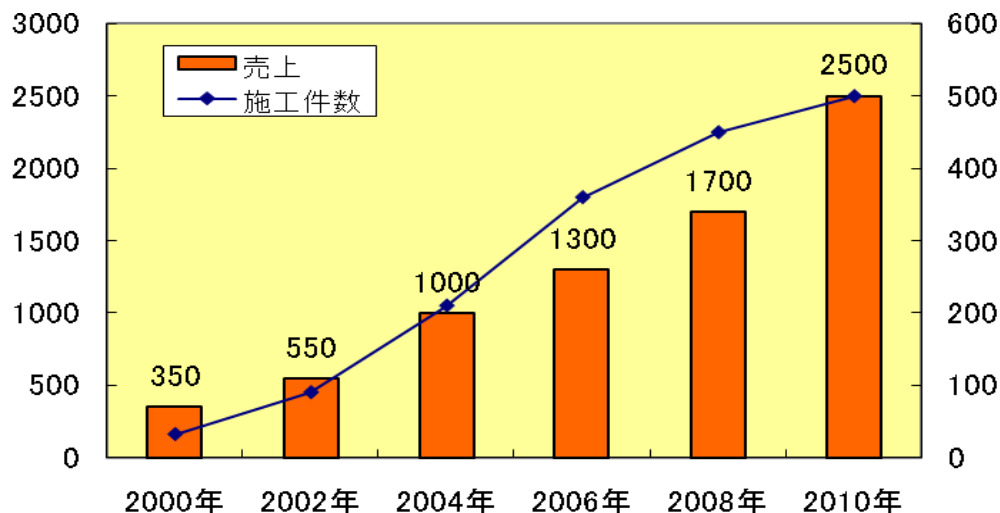
3) 防火水槽



【雨水貯留槽の市場規模】 雨水貯留浸透技術協会の調査より



【クロスウェーブ全体の販売実績・計画】



<ご参考2> 積水テクノ成型の概要

事業概要：車両部品事業 - 車両用内外装樹脂部材等の製造・販売
 産業用品事業 - 各種コンテナ、パレット等の製造・販売

本社：奈良県生駒郡安堵町窪田1135-5

設立：1962年8月

資本金：2億円（積水化学100%出資）

従業員数：約130名

売上高：約150億円（2008年度）

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします

積水化学工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 佐藤・古賀 : 03-5521-0522
 積水テクノ成型株式会社 産業用品営業部 土木資材営業所 新井 : 03-5521-0738